

### 漢字の組み合わせと意味

漢字の組み合わせから、「熟語」の意味を考えよう。漢字の組み合わせを考えるときには、その漢字を訓で読んで読むと、組み合わせが分かりやすくなります。漢字の組み合わせには、次の四種類があります。

#### ◎ 上の漢字が下の漢字を修飾するもの

- |                 |              |
|-----------------|--------------|
| 〔例〕 駅前 : 駅の + 前 | 強風 : 強い + 風  |
| 国旗 : 国の + 旗     | 風力 : 風の + 力  |
| 最高 : 最も + 高い    | 冷水 : 冷たい + 水 |

#### ◎ 下の漢字が「——を」「——に」の意味をもつもの

- |                    |                 |
|--------------------|-----------------|
| 〔例〕 帰国 : 国(に) + 帰る | 読書 : 書(を) + 読む  |
| 作文 : 文(を) + 作る     | 求人 : 人(を) + 求める |
| 登山 : 山(に) + 登る     | 拳手 : 手(を) + 挙げる |

#### ◎ 上下の漢字がにた意味をもつもの

- |                    |                 |
|--------------------|-----------------|
| 〔例〕 思考 : 思う    考える | 森林 : 森    林     |
| 周辺 : 周り    辺り      | 開始 : 開ける    始まる |
| 幸福 : 幸い    福       | 願望 : 願う    望む   |

#### ◎ 上下の漢字が反対の意味をもつもの

- |                |                |
|----------------|----------------|
| 〔例〕 左右 : 左 ⇄ 右 | 天地 : 天 ⇄ 地     |
| 明暗 : 明るい ⇄ 暗い  | 苦楽 : 苦しい ⇄ 楽しい |
| 問答 : 問い ⇄ 答え   | 集散 : 集まる ⇄ 散る  |

## 漢字の組み立て

漢字を大きく二つに分けたとき、分けられた部分がどこにあるかによって、次の七つのグループに分けられます。

◎ へん 糸 いとへん : 級・結・約・続・給など

ぎょうにんべん : 径・待・役・後・徒など

しめすへん : 福・礼・社・神・祝など

りつとう : 副・前・列・別・利など

ちから : 動・功・助など

あくび(かける) : 歌・次など

ひとやね : 会・今・倉・令など

あなかんむり : 空・究など

おいさんむり(おいがしら) : 考・者・老など

れんが(れつか) : 照・点・熱・然・無など

かい(こがい) : 買・負・貨など

しんにょう(しんにゅう) : 達・辺・連・選・遊など

まだれ : 府・底・康・庭・度など

もんがまえ : 固・図・園・回・国など

くにがまえ : 間・閑・開など

◎ かまえ もんがまえ



◎ たれ



◎ くに



◎ まえ

門 口

广

之

貝 ツ

宀 宀 入

欠 力 力

糸 綾 綾

## 送りがな

送りがなは、文の意味や訓読みの読み方を、はつきりさせるはたらきがあります。

### ◎ 漢字の読み方は同じで、送りがながちがうもの

明	直	放	上	鳴	受	外
明かり(あかり)	直す(なおす)	放る(ほうる)	上る(のぼる)	鳴く(なく)	受ける(うける)	外れる(はずれる)
明るい(あかるい)	直す(なおす)	放す(はなす)	上がる(あがる)	鳴らす(ならす)	受かる(うかる)	外す(はずす)
	直す(なおす)	放す(はなす)	上げる(あげる)		伝わる(つたわる)	曲がる(まがる)
	直す(なおす)	放す(はなす)	上る(のぼる)		伝える(つたえる)	曲げる(まげる)
	直す(なおす)	放す(はなす)	放る(ほうる)		挙げる(あげる)	残る(のこる)
	直す(なおす)	放す(はなす)	直す(なおす)		挙げる(あげる)	残す(のこす)
	直す(なおす)	放す(はなす)	直す(なおす)		挙がる(あがる)	積む(つむ)
	直す(なおす)	放す(はなす)	直す(なおす)		挙がる(あがる)	積もる(つもる)

### ◎ 漢字の読み方も、送りがなもちがうもの

明	直	放	上	行	積	残	曲
明かり(あかり)	直す(なおす)	放る(ほうる)	上る(のぼる)	行く(いく)	積む(つむ)	残る(のこる)	曲がる(まがる)
明るい(あかるい)	直す(なおす)	放す(はなす)	放る(ほうる)	行う(おこなう)	積もる(つもる)	残す(のこす)	曲げる(まげる)
	直す(なおす)	放す(はなす)	直す(なおす)	負ける(まける)			
	直す(なおす)	放す(はなす)	直す(なおす)	負う(おう)			
	直す(なおす)	放す(はなす)	直す(なおす)	連なる(つらなる)			
	直す(なおす)	放す(はなす)	直す(なおす)	連れる(つれる)			
	直す(なおす)	放す(はなす)	直す(なおす)	生きる(いきる)			
	直す(なおす)	放す(はなす)	直す(なおす)	生まれる(うまれる)			
	直す(なおす)	放す(はなす)	直す(なおす)	生える(はえる)			

1 次の熟語の意味を、あとの□の中から選び、記号で答えよう。

① 願望

② 登山

③ 苦楽

④ 国旗

ア 山に + 登る	イ 国    旗	ウ 願う    望む
エ 国の + 旗	オ 願う ⇩ 望む	カ 苦しい + 楽しい
キ 登る    山	ク 苦しい ⇩ 楽しい	

2 次の熟語と同じ漢字の組み合わせでできているものを、( )の中から選び、記号で答えよう。

① 幸福 (ア 左右 イ 求人 ウ 森林)

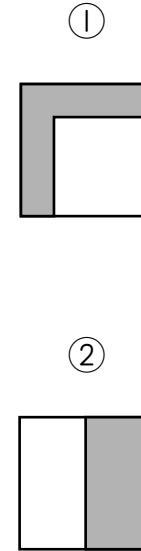
② 風力 (ア 最高 イ 思考 ウ 挙手)

③ 明暗 (ア 帰国 イ 開始 ウ 天地)

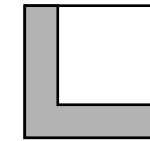
④ 読書 (ア 問答 イ 作文 ウ 強風)

④	③	②	①

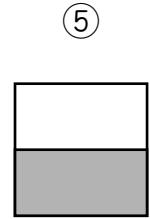
1 一つの漢字を大きく二つに分けたとき、次の□の部分の名前を何といいますか。その名前を書こう。



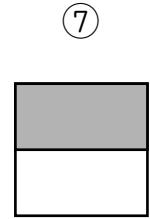
①



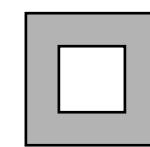
③



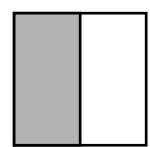
⑤



⑦



④



⑥

⑦	⑥	⑤	④	③	②	①

2 次の漢字を大きく二つに分けたとき、分けられた部分は、問題1の①～⑦のどのグループに入りますか。番号で答えよう。

ウ イ ア  
待 庭 買

ウ	イ	ア

1 次の——線のひらがなを漢字と送りがなで書いたとき、正しいのはどちらですか。記号で答えよう。

① 屋根や道路に雪がつもる。

ア 積る  
イ 積まる

② その部屋のあかりはついていた。

ア 明かり  
イ 明り

③ 昨日の天気予ほうがはずれる。

ア 外る

イ 外れる

ウ 外ずれる

2 次の——線の読み方を、送りがなに注意して書こう。

① 坂を上ると、神社が見えた。

② 二千発の花火を打ち上げる。

③ 連なる山々を写真にとる。

④ 王様は、三人の家来を連れてきた。

④	③	②	①

③	②	①

1 次の熟語と同じ漢字の組み合わせでできているものを、（ ）の中から選び、記号で答えよう。

① 読書 (ア 作文 イ 問答 ウ 強風)

② 明暗 (ア 帰国 イ 天地 ウ 開始)

③ 幸福 (ア 求人 イ 左右 ウ 森林)

④ 風力 (ア 挙手 イ 最高 ウ 思考)

2 次の熟語の意味を、あとの□の中から選び、記号で答えよう。

① 国旗

② 願望

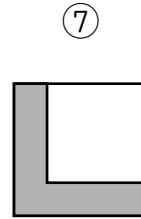
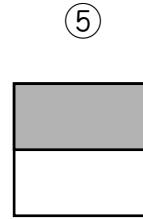
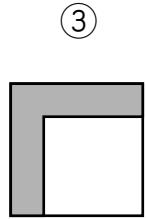
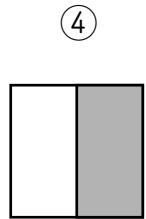
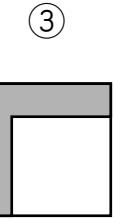
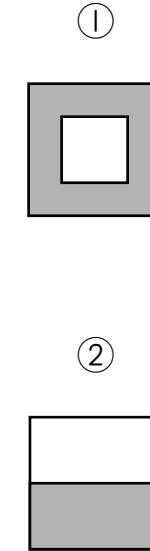
③ 苦楽

④ 登山

④	③	②	①

ア 登る    山	イ 願う ⇄ 望む	ウ 苦しい + 楽しい	
エ 国    旗	オ 山に + 登る		
キ 国の + 旗	ク 苦しい ⇄ 楽しい		

1 一つの漢字を大きく二つに分けたとき、次の□の部分の名前を何といいますか。その名前を書こう。



2 次の漢字を大きく二つに分けたとき、分けられた部分は、問題1の①～⑦のどのグループに入りますか。番号で答えよう。

⑦	⑥	⑤	④	③	②	①

ウ イ ア  
買 待 庭

ウ	イ	ア

1 次の——線の読み方を、送りがなに注意して書こう。

① 王様は、三人の家来を連れてきた。

② 連なる山々を写真にとる。

③ 二千発の花火を打ち上げる。

④ 坂を上ると、神社が見えた。

2 次の——線のひらがなを漢字と送りがなで書いたとき、正しいのはどちらですか。記号で答えよう。

① 昨日の天気予ほうがはずれる。

ア 外ずれる

イ 外れる  
ウ 外れる

② その部屋のあかりはついていた。

ア 明り

イ 明かり

③ 屋根や道路に雪がつもる。

ア 積もる

イ 積る

(3)	(2)	(1)

(4)	(3)	(2)	(1)